



子供をほめる時のコツ

宮前小学校の校長室には「ほめて育てる」という短冊が貼ってあります。子供は褒められることを通して、次の目標達成への意欲が高まり、モチベーションが高くなっていきます。しかし、「ほめる」と言ってもそう簡単ではありません。ほめ方を間違えると、子供たちのモチベーションは下がってしまいます。今回は「ほめる」コツについて考えていきたいと思います。

- 1 ほめる時は「ほめっぱなし」が鉄則
テストで良い点を取った子供に対して

やればできるじゃない
次はもっとがんばってね

NGワード

どんどん要求される、認められていない
親の期待にこたえ続けなければならない
途方もないゴールにやる気が失われる

やればできるじゃない
よくがんばったね

親と一緒に喜んでくれると、子供のやる気やモチベーションは上がる



子供のモチベーション

外発的モチベーション

「親の要求に応える」…言われてやる、期待されるからやる
※これが続くと、がんばることがどんどん苦しくなる

内発的モチベーション

自分の内側から「やりたい気持ちが湧き上がる」
…うれしいからやる、興味があるからやる
※やる気やがんばりが持続しやすい



- 2 親の固定観念で否定せず、子供の考えを聞く

あなたは何もわかっていない。世の中そんなに甘くないわよ。

将来、ゲームクリエイターになりたい

あなたが将来のことをどう考えているのか、もう少し詳しく教えて。



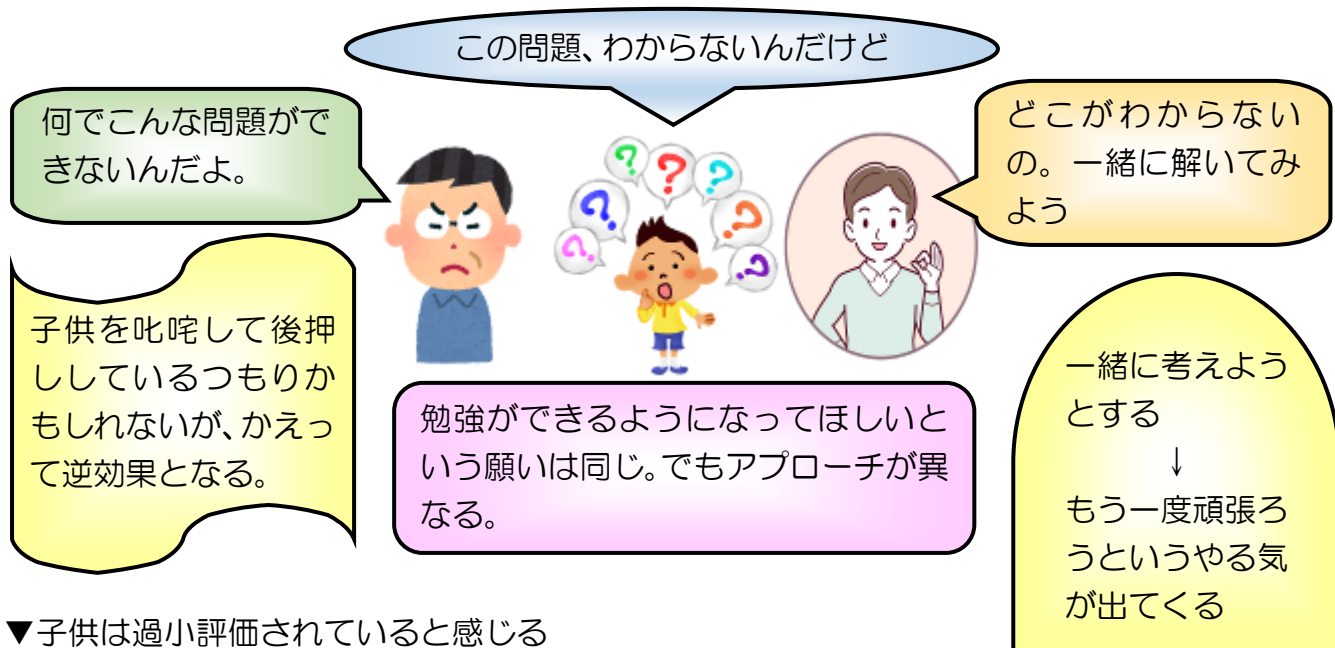
時代がものすごいスピードで変化している中で、親の経験値だけでは通用しなくなっています。固定観念だけで子供の考えを否定しても、子供は反発するだけです。

◎子供の話を一方的に否定するのではなく、そのままの事実を伝える。



◎ 子供の興味のベクトルに合わせて、親と一緒に協働したり、サポートしたりすることで、親子の関係性もよくなっていく。

3 子供にマウントを取るのは禁物



▼子供は過小評価されていると感じる

▼勉強への意欲を失う